

# News Release

平成 26 年 3 月 13 日

N I T E ( ナイト )

独立行政法人製品評価技術基盤機構

## 有害性評価のための毒性データを大幅に拡充 ～化学物質の有害性評価ツール（H E S S）～

N I T E ( ナイト ) [独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長：安井 至、本所：東京都渋谷区西原] は、試験データのない化学物質の有害性を評価するためのシステム「有害性評価支援システム統合プラットフォーム」(通称：H E S S (ヘス)) について、より多くの化学物質の有害性評価が実施できるよう大幅なデータ追加等を、平成 26 年 3 月 13 日 (木) に行います。

1. 欧州の R E A C H 等、諸外国の化学物質管理制度では、新規の化学物質や一般化学物質の有害性評価を事業者主体で行うことから、有害性を低コストかつ効率的に評価できる *in silico*<sup>※1</sup> モデルの開発、活用が望まれています。
2. N I T E は、試験データのない化学物質の反復投与毒性<sup>※2</sup> を評価するための世界初のツールとして「有害性評価支援システム統合プラットフォーム」(通称：H E S S (ヘス)) を N E D O / 経済産業省の委託事業で開発し、平成 24 年 6 月より N I T E ホームページにおいて公開しています。
3. このたび、ツールの操作性の向上及び掲載されているデータの大幅な追加を行いましたので、主に肝臓毒性について、より多くの化学物質の有害性評価を実施することが可能となります。
  - (1) 操作性の向上
    - 評価したい化学物質とその生体内での代謝物の反復投与毒性を同時に評価できるようになります。
  - (2) データの追加
    - 欧米で行われている *in silico* モデル等の開発プロジェクト<sup>※3</sup> から提供された反復投与毒性データ (主に化粧品、食品添加物、農薬のデータのべ 1, 345 物質) 及び化審法<sup>※4</sup> 一般化学物質の反復投与毒性データ (63 物質) を追加しました。これにより、登録されている物質は従来の約 500 物質から約 1, 800 物質へ大幅に増加します。
    - 花王株式会社の協力等により、収集した医薬品の毒性情報等を基に作成した肝臓毒性に関するカテゴリー<sup>※5</sup> を 28 種類追加しました。これにより、初期に設定されているカテゴリーが 33 種類から 61 種類へ増加します。
4. 詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.safe.nite.go.jp/kasinn/qsar/hess.html>

※1：「コンピュータを用いて」の意味。実際に試験や測定を行わず計算で結果を予測する手法のこと。

※2：動物に化学物質を一定期間毎日反復投与することによって現れる化学物質の毒性 (生体機能や形態の変化等)

※3：EU COSMOS プロジェクト (<http://www.cosmostox.eu/home/welcome/>) 及び US EPA ToxCAST プロジェクト (<http://www.epa.gov/ncct/toxcast/>)

※4：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (昭和 48 年 10 月 16 日法律第 117 号)

※5：類似の分子構造を持ち、同じ毒性を有する化学物質をまとめたグループ。カテゴリーを活用することによって評価したい化学物質がおおよそどのような毒性を有するのか見当をつけることができる。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構

化学物質管理センター所長 木井 保夫

安全審査課 担当者 太田、櫻谷、池永

電話：03-3481-1735

FAX：03-3481-1950